

直接持ち込みについて

ごみ収集日以外にごみを処分したい方は、清掃センターに直接持ち込むことができます。(処理手数料は必要です。)

処理の都合上、持ち込みを制限させていただく場合がありますので、あらかじめご了承ください。なお、持ち込む際は、必ず事前にご連絡をお願いします。

※ごみを直接清掃センターに持ち込む場合は指定ごみ袋に入れる必要はありません。

○ごみ受付時間

9:00～12:00 13:00～16:00

月～金曜日(祝日・年末年始を除く)

○ごみ処理手数料

10kgごとに100円(10kg未満の場合は10kgとして取り扱います。)



画像出典：(公財)日本容器包装リサイクル協会

持ち込むごみについて

持ち込むごみは事前に分別が必要です。

座椅子、電気カーペットなどの種別の異なる物で作られているものは可能な範囲で分解・解体、分別をお願いします。



分解・解体
すること

持ち込みできないもの

- ・特定家電品(テレビやエアコン等)
- ・注射器・注射針・農薬・化学薬品
- ・建設・建築廃材
- ・オートバイ・自動車及びその部品やパーツ(ホイール・タイヤ等)
- ・農業資材(農業用マルチシート・ハウス用資材)
- ・ピアノ
- ・産業廃棄物
- ・その他清掃センターで処理する上で不適当と認めたもの

※「家庭ごみの分け方・出し方ガイドブック」をご覧ください。

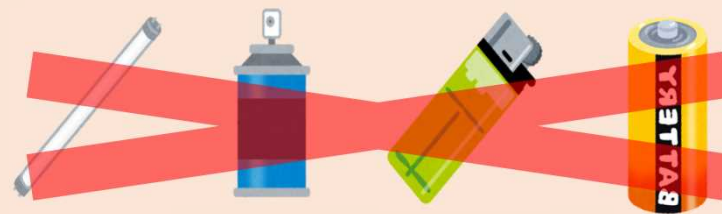
ガイドブックに載っていない物については清掃センターにお問合せください。



発行 みよし広域連合

清掃センター Tel: 0883-72-0006 Fax: 0883-72-6832

ごみ処理関係ホームページ <http://www.miyoshikouiki.jp/bunya/seisou/>



危険

ボンベ・スプレー缶・ライターや電池は**火災や爆発の恐れがあり大変危険です**。指定ごみ袋には入れず、「**中身の見える袋(指定袋はありません)**」に入れてください。

また、水銀体温計も指定ごみ袋には入れず、中身の見える袋に入れてください。

※ボンベ・スプレー缶は**使い切って**、**穴は開けず**に出してください。
蛍光管は割れない工夫をして出してください。

事故防止のため正しい分別をお願いします。

ごみの減量・再資源化にご協力をお願いします！

家庭系ごみと事業系ごみについて

家庭系ごみと事業系ごみとは

家庭系ごみ

家庭から出るごみ

ごみ収集場所

事業系ごみ

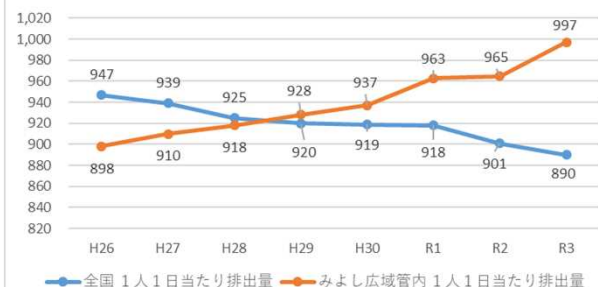
会社やスーパーマーケット、飲食店などの事業活動によって出るごみです。従業員が飲食した弁当の容器等も事業系ごみです。

事業系ごみを家庭系ごみと混同して収集場所に出すことはできません。

全国とみよし広域連合管内のごみ排出量の比較

ごみ排出量比較(事業系含む)

単位：g

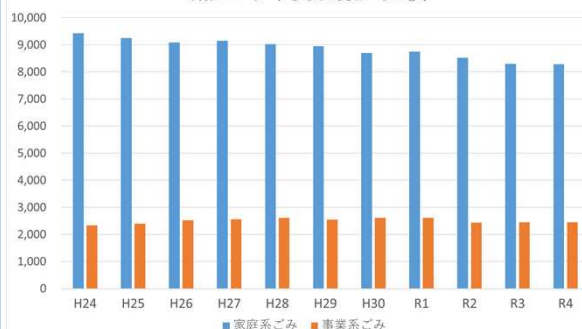


全国平均のごみの1人1日当たり排出量は近年、減少傾向となっています。

一方、みよし広域連合管内については人口減少に伴いごみ総排出量は減少傾向ですが1人1日当たりの排出量は増加しています。

家庭系可燃ごみと事業系可燃ごみの排出量

可燃ごみ年度別搬入実績

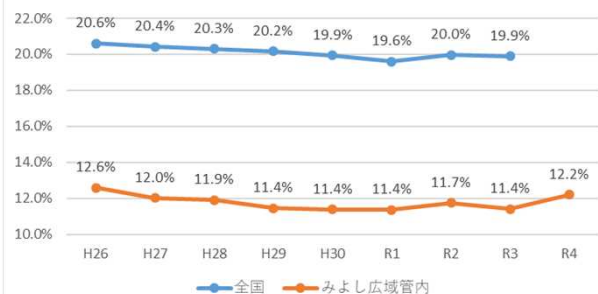


左のグラフは家庭系可燃ごみと事業系可燃ごみの年間排出量です。人口減少等に伴い家庭系可燃ごみは減少傾向ですが事業系可燃ごみは微増の状況です。

みよし広域連合管内のごみの減量化を促進するためには、事業系ごみの減量・リサイクルが重要です。

全国とみよし広域連合管内のリサイクル率の比較

リサイクル率

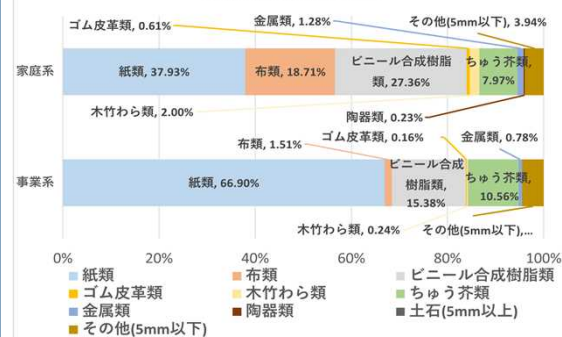


リサイクル率については全国平均は近年20%程度で推移しています。

みよし広域連合管内は11%～12%程度で推移しており、依然として、リサイクルが進んでいない状況です。

家庭系可燃ごみと事業系可燃ごみのごみ質の比較

可燃ごみ質分析調査結果



※グラフは乾燥した状態のごみとなります。

事業系可燃ごみのうち約67%を紙類が占めており、家庭系を大きく上回っています。

ダンボールや雑誌、新聞、パンフレットなどのリサイクルできるものは、可燃ごみに出さず、資源としてリサイクルにご協力をお願いします。

※詳しくはガイドブックをご覧ください。

リサイクル可能な紙類（一例）

雑紙

コピー用紙 封筒・ハガキ 紙袋・包装紙 ノート カタログ・パンフレット



※ビニールやプラスチック・金属等紙以外の物は取り外してください。

新聞(チラシ)・雑誌(本)・紙パック・ダンボール

